

令和6年度 第11回大潟区地域協議会次第

日時 令和7年3月19日（水）午後7時00分から

会場 大潟コミュニティプラザ2階 大会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

（1）視察研修の報告について

…資料No.1

4 協議事項

（1）令和7年度地域協議会開催日時について

（2）令和7年度地域協議会だより編集委員の選出について

（3）大潟区の「地域の魅力の向上」及び「まちづくり」について

5 その他

・次回地域協議会開催予定日

4月 日（ ） 午後 時 分

6 閉会

1. 視察日

令和7年3月1日(土)

2. 目的

中郷区さとまる学校の活動目的や活動内容をお聞きし、大潟区でのまちづくりや地域活性化に活かすヒントを得る。

あわせて、令和6年度中郷区地域協議会活動報告会を傍聴し、当地域協議会の活動の参考とする。

3. 視察先

①令和6年度中郷区地域協議会活動報告会

- ・「令和6年度中郷区地域協議会活動報告会」の傍聴

②一般社団法人中郷区さとまる学校

- ・「一般社団法人中郷区さとまる学校」の活動を説明頂き、意見交換を実施

4. 参加者

- ・大潟区地域協議会委員 10名
- ・大潟区総合事務所職員 2名

5. 視察風景



6. 委員感想

①今回の研修で印象に残ったこと、参考になったこと

委員名	内容
押見委員	・組織の作り方が上手。理にかなっている。実行部隊が地域協議会委員にいる事が理想的なスピードで可否の判断ができています。(効率が良い) ・子供からシニアまで地域活動に参加する体制を常に考え取り組んでいる。 ・大潟区は同じようにはいかないの、大潟らしい体制で進めるのが良い。 ・実行部隊との定例会を設ける。年間3回。昼間の開催も検討するべき。 ・こちらの都合だけでは無くお互いフェアになるように融通し合う。(案)
金澤委員	・さとまる学校の構成組織の中にまちづくり振興会・子供を育てる会・スキー育成会青年会・地域支え合い事業の団体がある。 ・地域協議会もそれら団体に携わる人から委員に選ばれていることから地域協議会での自主的審議事項での課題解決にたいして、各団体との連携ができていたと感じた。 ・さとまる学校を中心に中郷区の地域活性化向上の取り組みにたいして一体感があるように感じた。
小山委員	・質疑応答の中であった「中郷区には市議会議員がいない」ということから『中郷区』が上越市から独立しているようで、なんだか、キラキラしている地域に見えました。 ・各団体の活動も積極的だったことも驚きでした。 ・全世帯アンケートを実施したことが、すごい！と思いましたし、そこからの意見を反映して活動されていることが素晴らしいと思いました。
佐藤委員	・自主的審議事項での全世帯アンケートを実施した二つの設問 「設問」1. 中郷区が好きですか 2. 中郷区の生活で困っていることはなんですかの2項目が、とても未来志向であることに気づかされた。 1. は郷土愛を感じ、地元に愛着をもって住民に接しようとする気持ちが伝わってくる。 2. 生活で困っていることを真剣に「自分事として」向き合い、解決してくれるという地域協議会への信頼と住民と一緒に対策を考えていきたいという想いが伝わってきて、住民と地域協議会の信頼を感じ、勉強になった、視察研修であった。
佐野委員	・中郷地域協議会は竹内会長の人徳でうまく回ってきているように感じました。 ・区民へのアンケートは参考になりました。まずは、どのタイミングで、誰に、どういう内容で、どの方法などで行うか大潟区総合事務所と相談しながら行いたいと思いました。 ・中郷区は人口も少ないが、子どもとの接点があり、顔のわかる活動をしていることが素晴らしいと思いました。 ・各種団体との意見交換も実施済みと聞いて素早い取り組みに感心しました。 ・参加者からの質問意見についても活発で、よりよい方向付けになっていると感じました。
竹田委員	・さとまる学校の地域としてのポジショニングが、「地域に無くてはならないもの」であるということが大変よくわかりました。さとまる学校が地域に与える力、地域と主に歩む力が大きく、「楽しいからみんなおいでよ！」という声が聞こえてきそうな雰囲気伝わってきました。大潟区にも「まちづくり」

委員名	内容
	「福祉」などの団体がありますが、それぞれに活動を行っている印象です。 ・中郷はそれぞれが一つのチームになって子どもを育て、地域が育つ、という感じを受けました。一朝一夕に成しえることではありませんが、ぜひ大潟もこのような「チームづくり」をできたらいいなあと思います。誰かだけ、どこかだけ、ではなく、「みんなで」「継続して」「子どもが主役」の盛り上げられる地域になれば、もっと大潟を好きになって、戻ってきてくれる子供たちも増えるのではないかと思います。 ・こどものい〜場所事業について、旧上越市の「こどもの家事業」とは異なる取り組みを伺えて参考になりました。体を思い切り動かせる場所、仲間と集まれる場所はどこがいいか考えるチャンスとなりました。大潟区には「老人福祉センター」「大潟体育センター」「ジムリーナ」などの施設があります。活用していかない手はないと思いました。これからの協議会で提案できればと思います。
土屋会長	・さとまる学校は「ずっと大好き中郷」を実現するため、できることから活動を積み重ねてきた実績を知ることができた。中郷区住民の一体感を感じた。 ・上越市だけでなく、妙高市の企業等にも働きかけている積極性が参考になった。 ・優秀な事務局長を採用して組織を運営している点も参考になった。 【さとまるの由来：竹内理事長より】 ・ゆるキャラ発掘時の際、小中学生から公募した原案をもとに新潟アニメ専門学校に仕上げてもらい、当時名前（キャラクター）も6候補あり、住民投票しました。 頭にさくら、サムイを着て、背中には縄文土器、中郷の特色を生かしたキャラクターです。さと（郷）まる（まんまる）的な由来です。
俵木副会長	・小さな区であるにも関わらず、これだけの事をやっていることは凄いと思います。 ・他の団体と協力しながら実践していますが、果たしてそれぞれの該当団体がどのような考えや受け止め方で、そこまで一緒にやっているのか理解できない部分もあります。 ・ほぼすべてにおいてそこまでするのが果たしてとも思います。（人間的な面もあり？） ・ノウハウについては大変参考になり勉強になりましたが、大潟は大潟で真似（？）まではしなくても良いと思いますし、する必要がないのではと思う部分もあります。 それぞれの協議会の中でじっくり協議して進めていけばよいと思います。 ・現在2つのグループで検討しておりますが、それぞれの協議事項を最終的には単独で決めるのではなく、両グループでそれぞれの事項をお互い協議の上決定してもよいのではないかと思います。 今後の協議会のあり方についても勉強になりました。
柳澤委員	・中郷区の地域協議会委員同士のコミュニケーションができていて、仲が良く見えるように見えた。 ・地域協議委員の中に、実際に活動ができる団体の重役がいることが、活動がスピーディにできる要素でもあったと感じた。 ・子どもだけでなく、高齢者にも目を向け、お互いが協力し合って地域を作る、その「ハブ」（つなぎ役「共生」架け橋）として、さとまる学校等の団体があり、地域協議会もそれを目指して活動していると感じた。

委員名	内容
横田委員	・ニーズに対する対応が早い ・行動するための連携体制ができている ・日頃のコミュニケーション(飲み会?)が大事 ・長年にわたって連携がうまくいくためには、次世代の参加を促すことが大事 ・実働部隊になり得る人材に声をかける、誘う(何度も)、仲良くする ・実施した事業の改善も早い(反応や声を拾う) ・「学校は地域のもの」「学校は地域で育てる」さとまる学校がプロデュース ・振興会に仕事を集中させない(学校関係、居場所、バスなどは、さとまる学校で) ・一般社団法人の方がNPOより管理が楽。

②今回の研修についての意見、感想

委員名	内容
押見委員	・参考になりました。ただ、中郷区は計画された人選と組織の形となっていて全く同じようには行かないので、大潟区の組織に合った他地域の取り組みが見てみたい。 ・実行部隊との連携の方法や、活動の方法等参考にしたい。
金澤委員	・大潟区地域協議会しか知らなかったなので、有意義な研修でした。
小山委員	・初めて中郷区へ行かせていただきました。よかったです！
佐藤委員	・私は中郷区の活動報告会への参加は3回目だったが、他地区の地域協議会の自主的審議事項の活動報告に学ぶ機会としては、大潟区地域協議会としては初めてであったが、協議会及び協議会委員としての信頼と絆を深める機会となり、有意義であった。 ・今後も先進的な活動を進めている他自治区の地域協議会との交流を提案していきたい。
佐野委員	・急な研修会の日程、場所で戸惑ったが、内容は大変良くとても参考になりました。 ・中郷区は市内でも先進地域であり、参考にできる点が多かったが、当区の実情に照らしてどうするのかのヒントにしていきたいと思いました。 ・当協議会としても区の活性化の方向性などの目標を定めてそれから枝葉を広げていけばぶれないのではないかと思います。 ・次回も研修会があればできるだけ参加して他地区などの取組みを聞きたいと思いました。
竹田委員	・大変参考になる、そして素晴らしい研修の機会を頂戴できたことに、まずもって感謝いたします。 ・今回、ほかの地域協議会に初めて参加させていただきました。他地域でも熱心に審議をされていることが分かり、とても参考になりました。何かと調べれば調べるほど「中郷」の字を目にします。それにはわけがあったのだと思いました。「子ども真ん中社会」という話がありました。「子供が育つと地域が育つ。」まさにその通りだと思います。高校生になるとそれぞれの場所に旅立ちますが、何かのきっかけでいつか戻ってくると信じているとまた親世代が増えていくのだろうと感じました。

委員名	内容
	・私たちの親世代が、きちんと子供たちを育て、「いいところだなあ」という想いを抱かせらるようになりたいです。 ・別の話ですが、名立は「魅力発信」に力を入れているように感じます。名立海の学校という団体が設立されたり、うみてらす名立が若者向けのクレープ屋さんを入れてPRしたりしています。「魅力向上」の観点から、名立の話も聞きに行けたら面白いかと思いました。(名立の魅力発信を頑張っているのは、どうやら地域協議会ではないのですが。)
土屋会長	・会長として関係者と事前調整を何度か行い、当日はスムーズな実施ができてよかった。
俵木副会長	・参加させていただきありがとうございました。 ・先週も柿崎区の活動報告会を見学させていただきました。どちらも方向性、進め方は同じだと思いますし、大潟についても同様だと思います。取り組む内容についての取り上げ方が若干の違いがあるのではないかと思います。 ・今回の視察研修は、実践内容まで詳細に知ることができ、良い研修と思います。今後どのように当協議会が参考にしたり取り入れたりできるか、十分に検討しながらの話し合いが必要だと思います。いずれにしても、考えさせられる良い機会となりました。 ・先方様との打ち合わせなど大変だったと思いますが、ありがとうございました。お疲れさまでした。
柳澤委員	・人から聞いた話や、資料を見るだけでなく、実際に現地へ行き、その地域の方から話を聞き、また意見交換をすることで、自分の知識として蓄えることができると感じた。 ・情報量が全く違うので、是非こういった研修会は実施した方が良いと感じました。
横田委員	・会を実施して頂き、本当にありがとうございました。 ・報告会も傍聴できて良かった。 ・板倉区の地域協議会委員の方は個人的に参加？熱心ですね！ ・報告会に市議さんや、団体の代表も誘い、区の様子を知って頂きながら、区民からも要望を伝えたり、有意義に会を使っていた。 →大潟でも「市議と語る会」まで待たずに、意見交換ができそう ・中郷区の連携は大変参考になったので、「大潟の子どもを育てる会」「まちづくり大潟」「町内会長会」などの団体も一緒に視察したい。 ・できれば中郷小中学校と大潟町小中学校で交歓会をしたい(私が小学生の頃、夏は大潟で地引網、冬は中郷でスキーを教えてもらう行事があった) ・中郷区だけではなく、他の区とも視察や交流をし、見直しや活動の参考にしたい。